

コミュニティソーシャルワーカーの援助における関係継続の構造 —「終結なんて考えたこともない」援助者へのインタビュー調査の分析—

○ 佐久大学 上西 一貴 (9287)

キーワード：援助関係 終結 コミュニティソーシャルワーク

1. 研究目的

現在の日本の社会福祉、とりわけコミュニティソーシャルワークにおいては人びとの地域生活の維持や社会的孤立への対応のための援助が求められ、関係形成や関係維持が重視されている。援助関係の維持は援助の終結を不明瞭にする。そこで本研究ではコミュニティソーシャルワーカー（CSWer）による援助において「どのような構造によって関係継続が生じているのか？」という問いを設定して、関係継続の意識を生じさせる構造（関係継続の構造）を明らかにすることを目的とした。なお本研究は不明瞭な終結の構造を明らかにする研究の一部である。

2. 研究の視点および方法

「終結なんて考えたこともない」という X 社会福祉協議会の 4 名の CSWer を対象としたインタビュー調査データを、質的データ分析法を参考に分析し、CSWer の援助における関係継続の構造を考察した。

3. 倫理的配慮

インタビュー調査は事前に東洋大学社会福祉学研究科研究等倫理委員会の審査を受け、その承認（承認番号 2024-S7）を得たうえで実施した。調査開始時には調査協力者に①調査協力者への人権の擁護について、②個人情報の利用内容および方法について、③結果の処理について説明した。説明の後に調査協力者が同意書に署名してからインタビューを開始した。なお、本研究に関して開示すべき利益相反関連事項はない。

4. 研究結果

分析の結果、116 の [オープンコード] が生成され、それらの共通点等をもとに 34 の〈焦点的コード〉を生成した。さらに焦点的コードをまとめる 7 の《概念的カテゴリー》を生成した。《概念的カテゴリー》とそれを構成する〈焦点的コード〉は次のとおりである。

《複合課題ケース》〈隙間に対応する責任〉〈制度の境界線〉〈制度の隙間への対応〉〈関係の隙間への対応〉、《CSWer による単独支援》〈直接様子確認〉〈当事者との太い関係〉〈太い関係の否定的側面〉〈単独支援の負担〉〈制度と関係の隙間の関係継続〉、《地域住民との協働支援》〈個人支援と地域支援の連動〉〈地域住民への支援〉〈地域住民による CSWer へ

の支援)〈関係性のなかの援助)〈地域住民の力)〈地域住民との関係継続)〈地域における当事者との関係継続)、《**当事者の情報入手**》(受動的情報入手)〈能動的情報収集)〈情報入手による関係継続)、《**関係量の調整**》(関係の全体像を把握する)〈理想の関係像)〈太い関係のまま渡せない)〈無関係から太い関係を形成する)〈太い関係の卒業)〈太い関係を分配する)〈関係を太くしてしまう地域住民)〈太くなった関係を引き受ける)、《**援助の休止**》(援助対象の再浮上)〈援助関係の途切れ)〈援助過程の休止)、《**滞留・膠着ケースの肯定**》(地域と地域住民の変化)〈「どうしようもない」の共有)〈低空飛行の現状維持)〈小さな変化)。

5. 考察

1) 関係継続の背景

関係継続に関して、CSWerにはその前提となる次の4つの特性があった。すなわち、①【隙間に対応する使命】、②【制度の隙間と関係の隙間の二重の隙間】、③【二重の隙間による太い関係】、④【個人支援と地域支援の連動】である。

2) 4つの関係形態パターン

CSWerの援助における関係形態には、①【個と個の太い関係】、②【可変的な複数の細かい関係】、③【役割と役割の太い関係】、④【地域住民からの後方支援関係】の4つのパターンがあった。

3) 4つの関係継続パターン

CSWerの援助における関係継続には、①【仕方のない関係継続】制度の隙間と関係の隙間の二重の隙間によって他機関の専門職や地域住民につなげることができないために当事者との「関係を切れない」パターン、②【義務としての関係継続】地域住民に見守りをお願いしているために義務として地域住民や当事者との「関係を切らない」パターン、③【待機モードの関係継続】見守り体制が機能して積極的に情報収集しなくても当事者の情報が入ってくるために「関係が切れていない」と思うパターン、④【受容された関係継続】当事者の状態や状況が改善しないような負担の大きいケースであっても当事者の小さな変化や周囲の地域住民の変化といった成功体験によって「関係が切れなくてもいい」と思えるパターンの4つのパターンがあった。こうした関係継続の構造が援助の終結を不明瞭なものにしている。

【文献】

上西一貴(2025)「終結を目的としないソーシャルワークの研究—コミュニティソーシャルワーカーへのインタビュー調査を中心に」東洋大学審査学位論文。